

# 令和3年度第1回石狩市障がい者福祉計画策定委員会議事録【要約】

日時：令和4年3月17日（木）10：00～11：10

場所：石狩市総合保健福祉センターのんくる リハビリ室

出欠状況 出席者 10名

敬称略

委 員					
役 職	氏 名	出 欠	役 職	氏 名	出 欠
委員長	戸田 健一	出席	委員	赤山 好明	出席
副委員長	細谷 強志	出席	委員	福江 彰	出席
委員	森川 貴司	出席	委員	森 朋代	出席
委員	池田真由美	出席	委員	三島 照子	出席
委員	今西 浩子	出席	委員	笹谷 真琴	出席
事務局	所 属		氏 名		
	石狩市保健福祉部障がい福祉課長		田村 奈緒美		
	石狩市子ども発達支援センター長		藤田 千晶		
	石狩市保健福祉部障がい福祉課 主査		川村 祐子		
	石狩市保健福祉部障がい福祉課 主査		角田 誠二		
	石狩市保健福祉部障がい福祉課 主査		山本 健太		
	石狩市保健福祉部障がい福祉課 主任		鶴飼 和沙		

傍聴者 0名

.....

## 会議次第

### 1 開会

### 2 審議

#### (1) 計画の進捗状況について

##### ①障がい者計画について

- ・第4期石狩市障がい者計画

##### ②障がい福祉計画・障がい児福祉計画について

- ・第6期石狩市障がい福祉計画
- ・第2期石狩市障がい児福祉計画

### 3 報告

#### (1) 石狩市情報・コミュニケーション条例（仮称）検討委員会について

### 4 その他

### 5 閉会

## 開 会

【事務局田村】 これより『石狩市障がい者福祉計画策定委員会』を開会する。  
(資料の確認)

## 審 議

【戸田委員長】 今回の会議では、今年度からスタートした計画の点検や評価を中心にご意見いただく。

【事務局川村】 **資料1**障がい者計画の進捗状況について。今回は、令和3年度上半期の進捗状況となっている。「重点的な取り組み」と「今年度の新たな取り組み」を中心に説明する。●1ページ「評価」については、「A：目標どおり達成」「B：やや遅れている」「C：大幅に遅れている」の3段階で評価している。また、コロナウイルス感染症拡大防止でイベント等を中止した場合については、評価の対象外としている。●2ページ「障がいへの理解の促進」の④「障がいのある人への配慮に関する取り組み」について。呼吸器の疾患などでマスクの着用が難しい人のために、「マスクをつけられません」意思表示カードを作成し、広報やホームページ等で周知を図った。●3ページ重点的な取り組み①「情報・コミュニケーション条例の制定に向けた取り組み」について。令和4年度より検討委員会を設置し、条例制定にむけて検討を進める。●5ページ重点的な取り組み「感染症に対応した支援の充実」の①「障害福祉サービスを維持するための感染防止対策物品などの確保」について。市内の障がい福祉サービス事業所が必要な物品等を購入するための費用の一部を交付した。●6ページ「権利擁護体制の充実」の①「障がいのある人がトラブルに巻き込まれないよう関係機関が連携し、被害者とならない取り組み」について。今年度は地域自立支援協議会の中で、障がいの特性を理解し、当事者と周りの方とのトラブルを未然に防ぐことを目的とした「トラブルシューター」の活動について学習会を開催、その内容を広報で周知した。●7ページ「親なき後支援の充実」について。①8050問題などの事例が増える中、関係機関との情報共有や連携を強化し、支援につなげてきているが、しくみづくりには至っていないので、評価は「B」としている。②8050問題のような緊急かつ住み慣れた地域で安心して暮らしていくための地域生活支援拠点等整備についても、具体的な検討はまだこれからということで、評価は「C」としている。●8ページ「子どもの支援の充実」の重点的な取り組み①「市町村中核子ども発達支援センターの設置」について。現在、子ども発達支援センターでは、令和5年度までに中核子ども発達支援センターが設置できるよう、地域の連携体制や発達支援体制の強化を図っている。同じく④「医療的ケア児にかかる保健、医療、教育、保育、福祉などの関係機関との協議の場の設置」について。開催実績がなく評価は「C」としているが、昨年9月に医療的ケア児支援法が施行されたことを受け、認定こども園等で医療的ケア児を受け入れるための看護師を配置するための予算を次年度計上した。今後、必要に応じて保健師や事業所、学校等の担当者が協議するケース会議を開催する予定。●11ページ「就労支援と雇用促進」の①「事業所に通う交通費助成制度」について。昨年4月より制度を新設し、就労移行支援、就労継続支援 A 型・B 型の利用者の通所

にかかる交通費の半額を助成した。同じく②「就労定着支援終了後のフォローアップ」について。昨年4月より就労定着支援終了後も同様の支援が受けられるよう制度を新設した。●12ページ「保健・医療の充実」の重点的な取り組み①「精神障がい地域包括ケアシステムの構築」について。今年度は、地域自立支援協議会の中で、主に精神障がいのある方と家族を対象とした「メリデン版訪問家族支援」の活動について、支援者向け学習会を開催した。●14ページ「人材の育成・確保」の重点的な取り組み②「事業所職員の研修参加の支援」について。今年度はまだ取り組みをしていないので評価を「C」としているが、障がい者計画作成時の事業所アンケート調査結果の中で、資格取得のための研修受講料を助成して欲しいという意見が多かったため、次年度の新規事業として予算計上している。

続いて資料2福祉計画の進捗状況について。障がい福祉計画・障がい児福祉計画の進捗状況についても、実績値は令和3年10月末時点での数値を入れている。福祉計画については評価までは行っていない。見込値と実績値が大きく異なっている部分のみ説明する。●4ページ障がい福祉計画「サービス必要量の見込」の下段の「就労移行支援」について。見込より大きく実績が少なかったが、コロナウイルスの影響で外に出づらいう状況にあることが影響していると思われる。●8ページ障がい児福祉計画「サービス必要量の見込」の「児童発達支援」「放課後等デイサービス」、9ページ「障害児相談支援」について。見込より実績が多くなっている。「児童発達支援」については、健診や保育園からサービスにつながるケースが増えている。また、「放課後等デイサービス」については、コロナ禍の学校休業に伴い、不登校となる、または家族間でのストレスから相談・サービスにつながるケースが増えていることが影響していると思われる。

【戸田委員長】 みなさんからご意見やご質問を伺っていく。

【三島委員】 1ページのボランティア活動支援について。朗読ボランティアの会だけ社会福祉協議会が実施主体となっているのはなぜか。

【事務局川村】 助成金が市から支出しているのか、社会福祉協議会から支出している違いについてのご質問か。

【三島委員】 当初は障がい福祉課から支出されていたが、いつの間にか社会福祉協議会からの支出となっており、朗読ボランティアとしては45,000円の用途に制約があるなど不都合が出てきている20年間だった。

【戸田委員長】 助成金についての運用ルールについては社会福祉協議会も含めた話し合いになるのか？

【事務局田村】 助成金の支出について、経緯経過と対象経費について調査し、委員の皆様にご覧いただき議事録を送付する際に、調査結果をお知らせする。

- 【戸田委員長】 8ページ「市町村中核子ども発達支援センターの設置」について。児童発達支援や障害児相談支援が見込みより実績が増える中で、令和5年度の最終年度まで待たなければならないのか。
- 【事務局藤田】 今段階で市町村中核子ども発達支援センターの申請はできる状況にはなっているが、より地域の連携体制を強化してから申請する予定。令和4年度中に設置する可能性もある。
- 【三島委員】 2ページの視覚障がいの点字ブロック等の整備について。「関係団体の要望に応じて整備」とあるが、1年に1回は要望があるかどうか、市から団体へ声かけしてほしい。
- 【戸田委員長】 他の委員の皆様の団体はいかがか？
- 【赤山委員】 その方が要望を出しやすい。
- 【今西委員】 コロナ禍で役員会も実施できない状況。要望書について声かけがあれば考える機会となる。また、進捗状況の感想ですが、コロナ禍で事業が未実施であったり、不登校が増えたりと心が痛む。早く収束するよう願う。
- 【笹谷委員】 コロナ禍で聴覚障がい者もひきこもりがちになり、家から出れない状況となっている。手話サークルなどで集まればよいが、情報もあまり入ってこない。要望については行政と話し合いの場があればよい。
- 【福江委員】 資料に対する感想がある。内容が難しいので、これからもルビをお願いしたい。また、文字を大きくして欲しい。
- 【事務局田村】 要望については、個人よりも団体や町内会から出していただいた方が行政としては検討しやすい。福江委員の所属する石狩大地の会では、毎年市長を交えた懇談会を実施しており、当事者から要望をいただいている。定期的な取り組みとした方が、団体側も行政側も準備ができ、よいと思うので、今後は声かけさせていただく
- 【森川委員】 12ページの精神障がい地域包括ケアシステムについて。地域移行支援1人、地域定着支援0人に対して、評価がBとあるがなぜか。
- 【事務局川村】 実績が1人しかなく評価がしづらいということでBとしている。
- 【森川委員】 これから実績が増えれば評価が上がるということか。
- 【事務局川村】 内容を見て検討したい。

- 【池田委員】 7ページの8050問題について。早期発見とあるが、発見できても支援までには時間がかかり、いろいろ問題はあると思う。町内会での情報が重要になってくる。民生委員等も含めたしくみづくりが必要になる。
- 【戸田委員長】 高齢者支援や町内会との連携についてはどうか。
- 【細谷副委員長】 最近では8050ではなく9060に移行している。待っているだけでは情報は入ってこないが、包括の支援員から「2階にひきこもっている」という情報をいただいても、すぐにアプローチはかけられないのが現状。また、すぐに支援が必要ということでもなく、親世代も高齢であっても「なんとなく元気」で、家族が「なんとなく生活」している状況。このような見守り体制の情報が大切であり、高齢者、障がい者、子どもとの関係機関のネットワークが必要。
- 【戸田委員長】 関係機関と連携して支援に入ったりするケースは増えてきているか。
- 【細谷副委員長】 訪問する件数が増えているわけではなく、情報として耳に入ってくるケースが増えている。本当は6030あたりで課題をクリアしていかなければならないが、皆さん元気に長生きされて、9060問題になってきていると実感している。
- 【戸田委員長】 8050問題は最近特に話題になってきて、障がい支援側と高齢支援側と一緒に家庭に入るが、発見に至らないケースもあり、実情は地域によってさまざま。今後、地域生活支援拠点事業の整備を具体的にどうするのかという議論につなげていければと思う。
- 【森委員】 進捗状況評価報告書については、全体的に丁寧にまとまっているという感想を持った。コロナ禍で、子どもたちがマスク生活する中、「人の表情が見えない」「声がこもって聞こえづらい」など、影響は大きいと感じている。そのような中、2ページの「マスクをつけられません」意思表示カードの取り組みはタイムリーに対応できていると思う。
- 【事務局山本】 いくつか補足説明をする。12ページの「メリデン版訪問家族支援」について、家族支援とあるが、困りごとを当事者だけでなく家族も含めて支援しようという取り組み。地域自立支援協議会で来年度も引き続き、取り組みに協力する事業所を増やしていく予定。また、6ページのトラブルシューターについても、石狩大地の会を中心に、地域自立支援協議会で取り組みを進めている。さらに8050問題については、障がい者支援側でも高齢者支援側でも、どちらに相談があっても情報共有はしているので、どこに相談しても適切に対応できる状況にはなっている。
- 【細谷副委員長】 地域自立支援協議会の事務局としてメリデン版訪問家族支援について補足する。精

神障がいの方のケアについて、精神科のドクターの下、当事者と家族をケアしていく方法論であり、この取り組みは計画に沿って取り組んだということではなく、協議会の中で自然発生的に始まった。事業の実績も大事だが、こういった情報共有の場、ネットワーク、連携をいかに「見える化」して発信していかなければならない。石狩市の規模だからこそできるのではないかと思う。

【三島委員】 14ページの職員研修について。「市職員のための手話研修会の実施」とあるが、視覚障がい者ガイドヘルパーについても実施して欲しい。また、「広報いしかり」について、朗読ボランティアをしているが、横文字などの聞きなれない言葉が増えているので、なるべく分かりやすい言葉にしてほしい。

【事務局田村】 担当課には要望いただいた旨、伝えておく。

## 報 告

【戸田委員長】 次の議題、「情報・コミュニケーション条例（仮称）検討委員会」について。

【事務局川村】 **資料3**「石狩市情報・コミュニケーション条例（仮称）検討委員会」について報告する。障がい者計画の重点的な取り組みの一つである情報・コミュニケーション条例の検討について、次年度より検討委員会を立ち上げ、検討を進めていく予定。要綱にもあるとおり「障がいの特性に応じたコミュニケーション手段の普及と利用促進により、障がいの有無によって分け隔てられない共生社会の実現を目指す」ことを目的としている。今後のスケジュールについて、令和6年3月の条例制定に向けて、令和4年6月より約2年にわたり条例の内容や啓発方法などについて検討を行っていく。検討委員の選定、公募委員の募集については来月4月に行う。

【戸田委員長】 笹谷委員、意見あればお願いします。

【笹谷委員】 手話に関しては、言語条例ができ、出前講座などで出向くことが多くなった。条例ができることで聴覚障がい者にとって、いい環境になってきていると感じる。

【戸田委員長】 今回の条例により、さらに情報保障が進んでいくことを期待する。

## その他

【戸田委員長】 会議の終了時刻となる。今期の会議はこれで終了となる。来年度の会議では、今日出させていただいた意見を踏まえ、次期委員の皆さまと引き続き計画の点検・評価を行っていきたいと思う。

【事務局田村】 2年間にわたってのご議論いただき感謝申し上げます。皆さまから一言ずつ挨拶いただきたい。

- 【池田委員】 計画ができたことにより、よりよい石狩市になることを願う。
- 【森委員】 コロナ禍だからこそ、教育の場も福祉の場もできることを増やしていかなければならない。
- 【今西委員】 普段聞くことのない委員みなさまの思いを知り、大変勉強になった。
- 【赤山委員】 障がいの方が事故に巻き込まれたという話を聞くと、いろいろ改善され、もっといい社会になればと思う。
- 【福江委員】 会議は難しい内容だったが、自分たちの意見をもっと出せるようになりたい。
- 【笹谷委員】 コロナ禍でマスク生活になり、私たち聴覚障がい者にとっては表情が読み取れず苦労している。この計画のもと、社会が変わっていければと思う。
- 【三島委員】 委員の皆さまに感謝申し上げます。
- 【森川委員】 石狩に住んでよかったと思ってもらえる地域にしたい。他障がいについても勉強になった。
- 【細谷副委員長】 いろんな立場の意見を聴くことができ参考になった。よりよいまちづくりができればと思う。
- 【戸田委員長】 委員の皆さまのご協力に感謝申し上げます。この2年間の議論を、新しい体制の中でさらに議論を深めていきたい。皆さまのご活躍と住みやすい地域になることを願う。
- 【事務局田村】 皆さまからいただいた意見を行政に活かしていく。また、次年度以降に会議においては、もっと意見を出しやすい雰囲気づくりにも努めていきたい。
- 【戸田委員長】 以上をもって、本日の石狩市障がい者福祉計画策定委員会を終了する。

#### 議録署名

上記会議の経過を記録し、その相違がないことを証するため、ここに署名します。

令和 4年 4月19日

石狩市障がい者福祉計画策定委員会

委員長 戸田 健 一